

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA in 九州

今月の注目データ

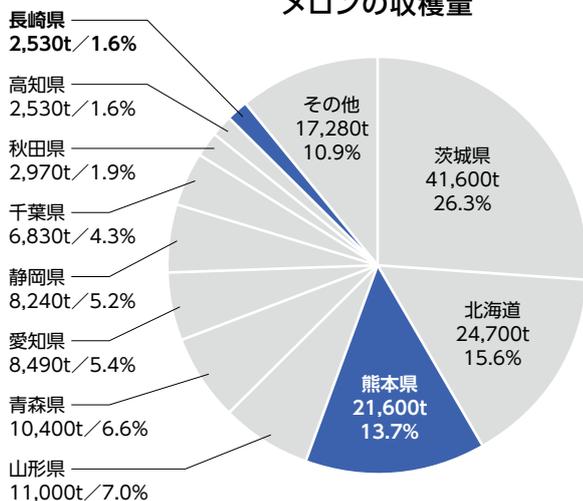
メロンの収穫量

高級な果物というイメージのメロンですが、とても栄養価が高く、特に高血圧や動脈硬化などの予防効果が期待できるカリウムが果物の中でも特に多く含まれています。そんなメロンの収穫量を都道府県別に見てみると、熊本県が第3位（13.7%）となっています。

日本で現在のような温室メロンが生産され始めたのは大正時代になってからで、熊本県菊池市七城町しちじょうでは、昭和の初め頃からメロンの栽培が盛んに行われてきました。当時は、県内にメロンの生産地は多く、七城町が特に有名ということではありましたが、1995年（平成7年）に道の駅『七城メロンドーム』がオープンし、品質に徹底的にこだわったメロンだけを販売していることを、県内外へ積極的にPRしたことにより、「メロン」と言ったら七城メロンとのイメージが定着しました。さらに、1999年（平成11年）からは、糖度14度以上で「優品」以上の等級のメロンのみ販売し始めたことから、全国的に知られることになりました。

七城メロンのひとつである「ホームランメロン」の出荷が始まる3月頃から、自宅用のみならず贈答用として、甘くて美味しいメロンを安心して購入するため、『七城メロンドーム』には多くのお客様が足を運ばれます。

メロンの収穫量



道の駅『七城メロンドーム』

出所：農林水産省「平成28年産野菜生産出荷統計」を基にFPGビジネスコンサルティング作成